

アサヤ株式会社の「SDGs宣言書」の策定支援について

株式会社七十七銀行（頭取 小林 英文）では、「77SDGs支援サービス」を通じて、アサヤ株式会社（以下、「当社」といいます。）の「SDGs宣言書」の策定を支援いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

当行は、持続可能な社会の実現に向け、地域金融機関として企業の「SDGs」への取り組みを支援してまいります。

記

企業名	所在地	事業内容
アサヤ株式会社 (代表取締役 廣野 一誠)	宮城県気仙沼市松川前13-1	小売業

(企業概要)

アサヤ株式会社は、1850年の創業以来、三陸沿岸で漁具・船具・漁業資材・漁撈機械等を取り扱ってきました。釣糸を作る麻の買付けに始まった商売は、釣針・ロープ・網・機械と広がってきましたが、「漁民の利益につながる、よい漁具を」の理念は一貫して変わりません。水産資源の減少、資材や燃料の高騰、担い手不足といった課題に向き合い、三陸の漁業に貢献し続けます。

事業を支える根幹にあるのは、社員が仕事に情熱を燃やせる環境です。人生の大きな割合を占める仕事が、楽しくて充実したものとなるように、「社員が主役になれる仕事」の環境整備を推進します。持続可能な地域なくして、漁業も会社も発展はありません。教育や環境といった地域課題にも貢献する「三方よしの三百年企業」を目指し、ここにSDGs宣言を行います。

注. 当社の「SDGs宣言書」については、別紙のとおりです。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



SDGs (Sustainable Development Goals)

2015年9月に、国連に加盟する全ての国が全会一致で採択した国際目標であり、17のゴールと、169のターゲットから構成されています。

七十七グループは2020年7月に「七十七グループのSDGs宣言～もっと、ずっと、地域と共に。～」を表明し、SDGsに対する取り組みを更に強化するため、2021年10月に「SDGs実践計画」を策定しました。





SDGs宣言書

アサヤ株式会社
2022年5月20日



当社はSDGsの内容を理解し、SDGs達成に向けた取組を下記のとおり宣言します。

取組 カテゴリ	SDGs達成に向けた 重点的な取組テーマ	取り組みの内容	関連が強い SDGsゴール
人権	<u>ダイバーシティ経営</u> <u>労働安全衛生</u>	誰もが安心して伸び伸びと働き、仕事も人生も充実させられる環境整備を推進します。 - 人事評価制度の構築、管理職研修の実施 - 県外出身者の就職、女性社員の役職登用、定年退職者の再雇用などの推進 - 従業員の健康診断と安全衛生教育の徹底 - 産業医と連携した健康相談窓口の設置 - 労働安全衛生やハラスメント等に関する義務化に先駆けた社内制度整備	
組織体制	<u>内部管理体制</u> <u>法令遵守</u>	経営理念・会社方針の浸透、業績情報の見える化、コンプライアンスの徹底により、地域の模範となる社員教育を推進します。 - 経営陣が直接伝える社内研修の実施 - 定例会議やグループウェアを通じた業績情報や意思決定の共有 - 公正入札、個人情報保護、労災防止、交通安全、危険物管理などの社内啓発	
環境	<u>廃棄物の削減</u>	廃棄物削減や有害物質対策などの環境配慮により、漁業の持続可能性を守ります。 - 産業廃棄物収集運搬業の許可取得 - 溶接ヒューム、漁網汚汚剤、塗装粉塵など自社作業で発生する有害物質への対策 - 環境負荷の低い漁業資材の情報収集	
公正社会貢献	<u>地域の教育</u>	「持続可能な地域なくして社業の発展なし」との考えに基づき、青少年育成や観光振興に積極的に貢献します。 - 漁業への興味を育む体験プログラムの開催 - 地域の産業を学ぶ校外学習の受入 - 市外からの教育旅行や視察の受入 - 震災復興過程を伝える防災講話の受入	

SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標) は、持続可能な開発のために国連が定めた国際目標です。2030年までに世界において解決すべき17のゴールを定めています。SDGsは、2030年の未来の「あるべき姿」もしくは私たちが直面している社会課題が、分かりやすく・バランス良く「見える化」されたものであり、企業がその経営や未来の姿を検討する際に役立つツールと言えます。

